

# 「安全最優先」を実践しよう！

## 安全を脅かすおそれのある

## 「効率化」に反対しましょう！

今職場では、庫内や庁舎内のありとあらゆる場所に「安全最優先」というステッカーがベタベタと貼られています。4月28日の終了点呼と4月29日の始業点呼の際に管理者から「安全に対する意識を常にもってもらうため普段よく目にするところにステッカーを貼りました」という話がありました。

「安全最優先」、美しい響きです。でも「職場の実態」とはかけ離れているような気がします。会社は「命を守るルール」の導入で「社員どうしが相互に管理する」職場づくりへと一歩踏み出しました。今度のステッカーベタ貼りは「こんだけ安全と言うとるのにケガとかしたら承知せんぞ」、もっと言えば「会社の方針・スローガンから逸脱するような社員は許さん」「社員一丸となって同じ方向を向きなさい」と言っているような気がしてなりません。もちろん「同じ方向」とは「リニア建設のための徹底したコスト削減と社員管理」です。

5月7日には全所員のヘルメットの右側に社員の名前入りの『命を守るルールステッカー』を貼るとしてあります。「社員管理」はどんどん強化されます。

でも「コスト削減」ですから安全にはお金をかけません。昼休み3階の食堂に食事に向かうのに不特定多数の人の触った抗菌仕様でない階段の手すりを持つ気にはなりません。始業前の体操だって安全のために労働時間としてやればいいのです。

そしてなによりも「安全最優先」にならないのは交番検査周期延伸などの「効率化」です。4月1日付で「規程の変更」をして今年度中には「交検回帰キロを3万キロから倍の6万キロ」にするとしていますが、例えばレアなケースですが「今まで3万キロで発見していた配電盤内の端子の焦げや浸水を6万キロ走行時まで放置する」ことになりませんか。「最優先」というなら不安全の種を残す可能性のある周期延伸などしてはなりません。お客様のために3万キロごとに交検を施工すべきです。

すでに会社は「仕業検査のB担1名減」や「新大阪支所の廃止」などの「効率化」もやるとしてあります。

これって「安全最優先」に反するのではないですか？！